

中学活用事例

キャリア・スタート・ウィーク

CSWの職場体験のための 事前学習として位置づける

上越市立春日中学校 校長 佐藤賢治氏

上越市立雄志中学校 教諭 田中哲也氏

——職業レディネス・テストを導入されるようになったのは、どのようないきさつからでしょうか。

佐藤 VRTの導入は、行政からのトップダウンではなく、「上越市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会」の参加組織である上越市中学校長会の「VRTをやるべきだ」という声から始まりました。実行委員会は、主に「キャリア・スタート・ウィーク」の職場体験を進める「上越『ゆめ』チャレンジ事業」の支援機関です。

田中 上越教育大の三村隆男助教授(現・早稲田大学教育・総合科学学術院教授)が、上越市のいくつかの中学でスクールカウンセラーを歴任され、各校でキャリア教育についての指導・アドバイスをされたのです。それで、キャリア教育を進めるには、自己理解をしながら職場体験に向けて学んでいく過程でVRTを実施するのがよい、ということになりました。職場体験を成功させるための力にもなっています。職業に興味・関心をもたせ、自分を知りきっかけになる。これから職場体験に臨む生徒たちにとってのツールであると思います。

——どのように実施・活用されていますか。

田中 2年生の夏、職場体験でどういった職場に行くかを決める前に実施します。VRTで事前学習をし、職場体験をし、そして事後学習をやる。そうした一連の流れを生徒たちは理解しています。

佐藤 VRTを受けることから職業へ

の興味・関心が芽ばえ、深まっています。中2の時点では生徒の知っている職業モデルは限られているので、広げていくには非常に有効です。そして自分の特性が見えてくる。職場体験の業種を選ぶのにVRTの結果が参考になります。

田中 やはり自己理解が一番大事です。生徒たちもそういうことが好きですから、喜んでVRTを受けていますね。「私は何タイプ?」という、自分のことを知りたい気持ち。学校生活でリーダーとして活躍している生徒が、興味も自信も低く、グラフ全体が小さいというケースもあります。担任が見てわからなかったこともVRTで見えてくる。雄志中では、職場体験のための2年時と、実際の進路決定のための3年の6月時と2回実施しています。結果がどう変わっているのかも興味深いところです。

佐藤 「時間がなくて」という先生がいましたが、自分で実際にやってみて2時間あれば結果の解釈まで終わることがわかり、納得します。やはり先生が自分でやってみないとダメ。本校では学級担任が必ず自分で一度やることになっています。

田中 職場体験が中学3年間の総合学習の流れの中で位置づけが明確になっていることが、キャリア教育の成否を決めます。そして、VRTは職場体験の準備として位置づけられています。職業の世界を知らないで職場体験に行ってもしょうがない。生徒もそれがわかって



田中哲也氏



佐藤賢治氏

いるので興味をもってやれるのです。3年間の見通しを立てた中で実施することで、より一層効果が上がります。有効に機能させられる。突発的・単発的にやってもあまり期待できません。

——これからの課題は。

田中 学校現場ではいろいろな検査・テストなどがあり、それらを学級担任がいかに資料として教育・相談、キャリア・カウンセリングに生かしていくかが課題ですね。いいことをたくさんやっているのに、それらがつながっていないために効果を上げられていない、というのではもったいない。

佐藤 検査をやっても、やりっ放しというところもあるかもしれないですね。

田中 結果のデータを活用できれば、統計として取りたい。学校全体、時系列での変化など、多様な活用方法があるような気がします。

雄志中では、職場体験の事前学習として「職業新聞づくり」を行っています

先行校の「良い」という評価が広がる

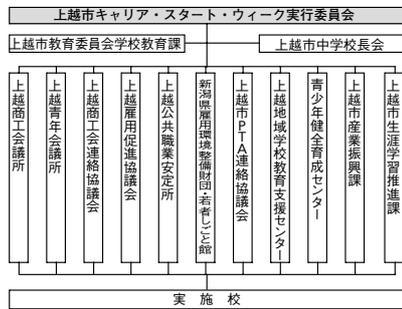
上越市教育委員会 学校教育課
指導主事 藤田賢一郎氏



文部科学省が推進する「キャリア・スタート・ウィーク」の職場体験を進めるために、上越市では、地域のさまざまな機関が連携する「上越市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会」を推進組織としていますが（図参照）、その支援機関の一つである上越市中学校長会による部会の席で、田中先生が職場体験の事前学習としてVRTを実施することの意義を、自らの実践を踏まえ力説されました。

VRTは今年度、市立中学22校すべてで利用されるようになりました。市教委で必ず使うようにといったわけではなく、学校長の評価に基づいて、あくまでも各校が実施を決めています。先進的に行っていた学校の知見が広がり、良いという情報が共有されたことが大きいですね。

職場体験を「なんとなく楽しそうなイベント」で終わらせてしまうのではなく、生徒たちの気持ち、動機づけをしっかりとさせることが重要です。子どもたちは「いずれ自分が働くことになるんだ」という意識をなかなかもちにくいものですが、VRTを事前学習に位置づけ、その上で職場体験することによって、それを理解し実感しやすくなるのではないのでしょうか。何年も継続し、実施希望校が100%になったというのは、VRTに対する理解が深まっているし、広まっていることの表れだと思いますね。



自分の興味・関心のある職業について記事にしてみる。1年時から意識をもたせるようにしているの、3年の進路希望調査で「進路を決めていない」という生徒は少ないです。VRTは、高校を決める一つの指標となっていますね。生徒たちはVRTや職場体験などのキャリア教育の一連の活動を「自分の将来を考える活動である」と自然に受け入れるようになってきていると思います。

中学時では「狭める」のではなく「広げる」進路指導をするべきです。VRTをやることで職業の世界が「広がる」。教師はそつうい指導をしていかなければいけない。VRTの結果を見て、「君はここが向いているからこつちだな、そつちはムリ」という決めつけをしてはダメです。生徒にいかに対応するかについて理解しておく必要があります。キャリア教育、キャリア・カウンセリソグの重要なポイントです。

佐藤 VRTは、「キャリア教育」のためのツールであることが明らかになってきた。そのほうがわかりやすいかもしれない。「職業」レディネス・テストだと就職希望者のための就職指導用と思われる面もある。それと、やはり現場で使う先生の理解を深めること。——VRTの良さとは何でしょうか。田中 やりやすいところでしょう。生徒が自分でやって自分で結果を出して自分で分析・判断し、理解できますから。佐藤 職業を知ることができる。生徒の職業についての狭い知識を広げられます。田中 「RIASEC」のタイプ分類は良いですね。全体にシンプルにできていて、わかりやすい。ワークシートも使いやすく、とても親切によく作られています。あまり知らなくてもそれとおりにやっていけばできてしまう。そして、ワークシートに自分で書き込んでいって想像し、考えていくことが大事です。「自分はここが得意だったんだ」などと希望をもってもらえるといい。生徒は、自分の将来に関わることを知りたいと思っているのです。

上越市立春日中学校

所在地 ●新潟県上越市春日野1-9-3
生徒数 ●563名 (2011年7月1日現在)
上杉謙信の居城、春日山城跡近くに位置し、「心豊かで、確かな学力を持つ、活力ある生徒の育成」を教育目標とするとともに、生徒の自己有用感・自己肯定感の育成に取り組む。

上越市立雄志中学校

所在地 ●新潟県上越市下池部 707
生徒数 ●197名 (2011年7月1日現在)
旧高田市街の東部、高田平野のほぼ中央、周囲に田畑の広がる農村地帯に位置し、校区が広いためほとんどの生徒が自転車通学する。「知性を高め、豊かな心を持ち、たくましく実践する生徒の育成」を教育目標とし、キャリア教育の推進に力を入れる。

解が深まるのではないのでしょうか。

VRT ● Tips 基礎的志向性 ● 3つの方向性

Data Orientation 対情報関係志向

- D1 情報を集める
- D2 好奇心を満たす
- D3 情報を活用する

各種の知識、情報、概念などを取り扱うことに対して、個人の諸特性が方向づけられていることを示す。
・言葉、数字、記号等でものごとを表現したり、それらを取り扱う仕事や活動(例えば、記号の比較照合、文書作成、計算、整理分析、判断解釈等の作業を含む仕事や活動)への志向性
●創造的な著述・音楽関係の職業、研究調査関係の職業、生産工学関係の職業、翻訳・編集関係の職業、計算・経理関係の職業、文書整理・管理関係の職業

People Orientation 対人関係志向

- P1 自分を表現する
- P2 みんなと行動する
- P3 人の役にたつ

主として人に直接かかわっていくような活動に対して、個人の諸特性が方向づけられていることを示す。
・人と交渉したり、援助したりする仕事や活動(例えば、奉仕、教授、指示、説得、相談、助言、情報の伝達・交換、監督、交渉等を含む仕事や活動)への志向性
●販売関係の職業、看護・医療関係の職業、福祉関係の職業、教育関係の職業、対人サービスの職業、法律関係の職業

Thing Orientation 対物関係志向

- T1 物をつくる
- T2 自然に親しむ

直接、機械や道具、装置などのいわゆる物を取り扱うことに対して、個人の諸特性が方向づけられていることを示す。
・自分の手でものを作ったり、機械や道具を操作したり調整したりする仕事や活動(例えば、生産作業、運転操作、制御、監視、調整等を含む仕事や活動)への志向性
●手工芸関係の職業、機械・装置運転関係の職業、生産技術関係の職業、芸術作品創作関係の職業、動植物関係の職業